



エコーキャンセラ EC-1 取扱説明書



もくじ

ページ







安全のために必ずお守りください…	2
概要…	4
セットの確認…	4
本体各部のなまえとはたらき…	4
設置方法…	5
本装置について…	5
設置場所の環境について…	5
接続前の確認…	6
接続方法…	6
接続後の確認…	6
本装置の使い方…	6
お手入れ…	7
故障かな? ちょっと確認してください…	7
保守サービスのご案内…	8
主な仕様…	8








このたびは、エコーキャンセラ EC-1をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手元においてお使いください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、NTT窓口等へお申しつけください。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話・録音などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本装置は日本国内用に設計されています。電圧の異なる海外では使用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本書を紛失または損傷したときは、NTT窓口またはお買い求めになった販売店でお買い求めください。

安全のために必ずお守りください

- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しておりますので、必ず守ってください。
- ご使用前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 本文中に使われている「図記号」の意味は次のとおりです。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	絶対に行わないでください。
	絶対に分解、修理、改造はしないでください。
	必ず電源（AC）アダプタをコンセントから抜いてください。
	必ず指示に従ってください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	
万一異常が発生したら、電源（AC）アダプタをすぐ抜く!!		
煙、変な音、においがする、ケースや電源（AC）アダプタ等が異常に熱くなっているなど、異常状態のまま使わないでください。火災、感電の原因となることがあります。このようなときはすぐに電源（AC）アダプタをコンセントから抜いて当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。		 抜く
万一内部に水や異物等が入ったら、電源（AC）アダプタをすぐ抜く!!		
火災、感電の原因となることがあります。このようなときはすぐに電源（AC）アダプタをコンセントから抜いて当社のサービス取扱所にご連絡ください。		 抜く
万一落としたり、破損したら、電源（AC）アダプタをすぐ抜く!!		
火災、感電の原因となることがあります。このようなときはすぐに電源（AC）アダプタをコンセントから抜いて当社のサービス取扱所にご連絡ください。		 抜く
ご使用は正しい電源電圧で。＜AC100V＞		
表示された電源以外で使用すると、火災、感電の原因となることがあります。		
修理、改造はしないでください。		
火災、感電の原因となることがあります。		 分解禁止
電源コードを大切に扱ってください。		
重いものをのせたり、熱器具に近づけないでください。コードが破損します。コードに傷がつくと、火災、感電、故障の原因となることがあります。電源コードを加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりすると火災、感電の原因となることがあります。コードが痛んだら当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。		
タコ足配線をしないでください。		
火災、感電の原因となることがあります。		

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

確認・点検を行ってください。

電源（AC）アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源（AC）アダプタをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。



ぬれた手で電源（AC）アダプタの抜き差しをしないでください。

火災、感電の原因となることがあります。



不安定な場所に置かないでください。

ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



風呂場では使わないでください。

水気が多い場所での使用は、火災・感電の原因となることがあります。



水場での使用禁止

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

次のような場所への設置や置き方はしないでください。

火災、感電、本製品の故障の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い所
- あお向けや横倒し、逆さま
- 風通しの悪い所、狭い場所に押し込む。
- 布や布団で覆ったり、包む。
- 海岸などの塩分の多い所
- 水、油煙のかかる所
- 直射日光の当たる所
- 熱器具の近く
- 温泉地などの硫化水素の発生する所



付属の専用電源（AC）アダプタをご使用ください。

専用以外のものを使用すると火災の原因、本製品の故障の原因となることがあります。



電源（AC）アダプタは持って抜いてください。

電源（AC）アダプタを抜くときは、電源コードを引っ張らず電源（AC）アダプタを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



長期不在時はコンセントから抜いてください。

長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源（AC）アダプタをコンセントから抜いてください。



抜く

雷のときはコンセントから抜いてください。

近くに雷が発生したときは、本体の電源スイッチを切り、電源（AC）アダプタをコンセントから抜き、ご使用を控えてください。雷によっては、火災、感電の原因となることがあります。



抜く

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

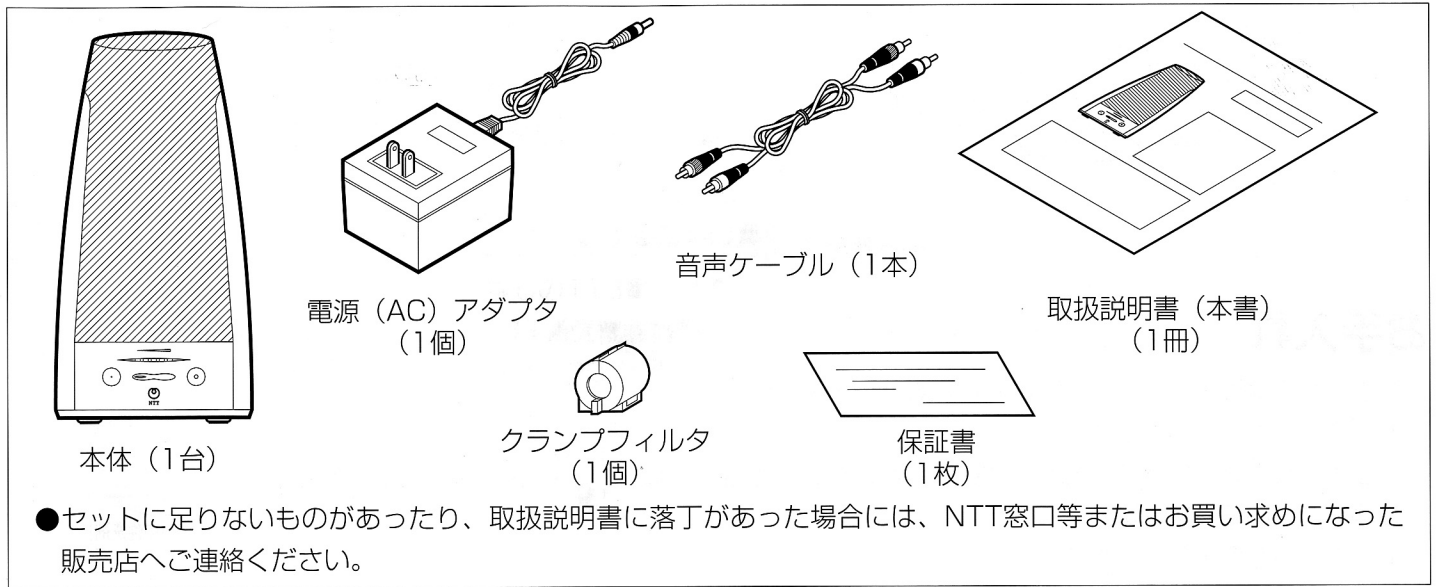
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

概要

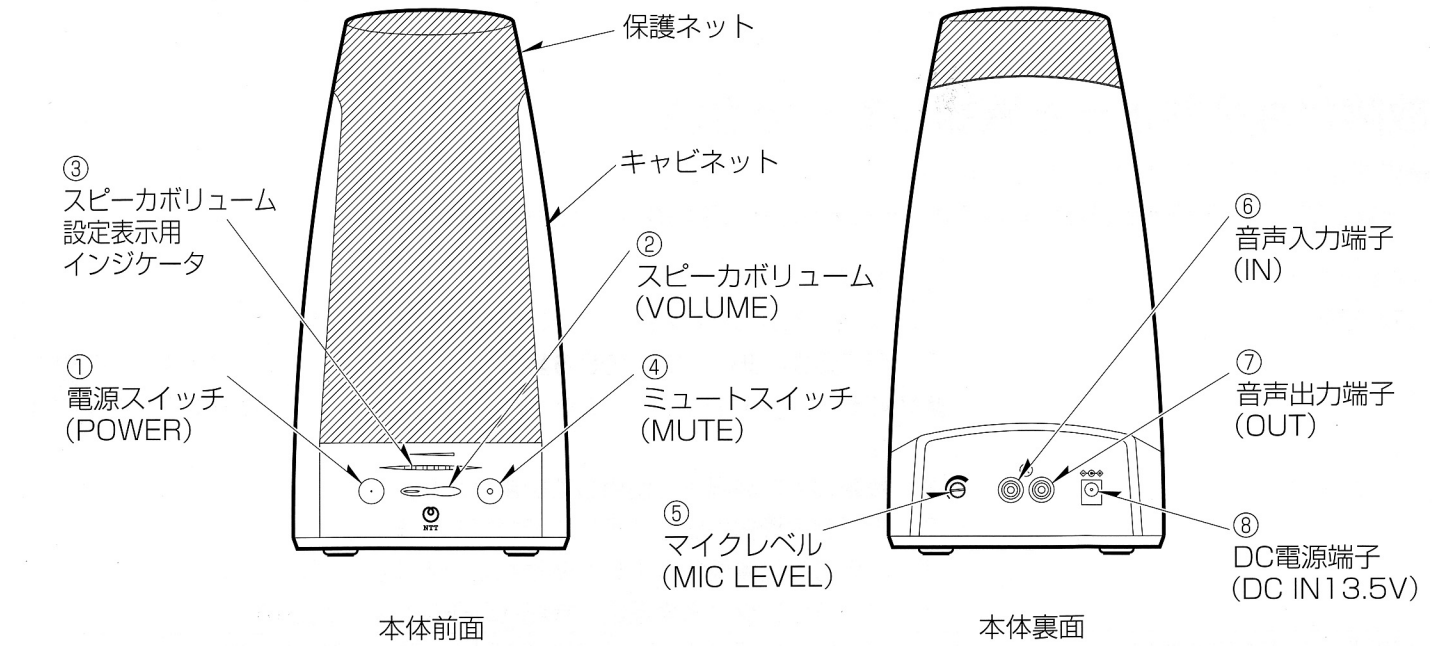
本装置は、エコーキャンセラ機能付きマイク内蔵スピーカです。音声入出力端子を持つ通信機器に接続して本装置に内蔵のマイク・スピーカにより、受話器等を使わずに音声通信を行うことができます。エコーキャンセラ機能付きですから、本装置を使用することで、ハウリングや、会話の途切れ感がない高品質な音声通話ができます。

セットの確認

梱包の中には、下記のものが入っています。ご確認の上、取り出してください。



本体各部のなまえとはたらき



①電源スイッチ (POWER)
本装置の電源を入れたり (ON) 切ったり (OFF) します。

②スピーカボリューム (VOLUME)

右側を押すごとにスピーカの音量が上がります。左側を押すごとにスピーカの音量下がります。通常は標準状態でお使いください。

③スピーカボリューム設定表示用インジケータ

スピーカボリュームは10段階の変更ができます。インジケータのランプは1個当たり2段階です。

電源スイッチ①を入れる (ON) と、左から3個緑色で点灯します。この状態がスピーカボリューム②の標準状態です。スピーカボリュームの右側を押していくと、左から4番目、5番目が緑色で点灯します。5個点灯した状態がスピーカボリューム最大設定です。また、スピーカボリューム②の左側を押していくと最終的には左側1個が緑色で点灯します。この状態がスピーカボリューム最小設定です。電源スイッチ①を切ると (OFF) スピーカボリューム設定は解除され、再び電源スイッチ①を入れる (ON) と標準状態 (左から3個点灯) となります。

④ミュートスイッチ (MUTE)

音声を相手に送らないようにするスイッチです。押すとミュートスイッチ内の赤色のLEDが点滅し、ミュート状態となります。もう一度押すとミュートは解除され、音声が相手に送られます。こちら側の音声を相手側に伝えたくない場合に使用します。

⑤マイクレベル (MIC LEVEL)

このマイクレベルは、出荷時、最適位置に調整されています。保守用につき、絶対に触らないでください。

⑥音声入力端子 (IN : 赤色)

通信機器の音声出力端子からのコードを接続します。詳しくは、「接続図」(6ページ) をご覧ください。

⑦音声出力端子 (OUT : 白色)

通信機器の音声入力端子からのコードを接続します。詳しくは、「接続図」(6ページ) をご覧ください。

⑧DC電源端子 (DC IN1.5V)

付属の専用電源 (AC) アダプタからのコードを接続します。

設置方法

本装置について

- 本装置の入出力の信号基準レベルは、 -14.7dBm に設定されています。接続する機器の入出力信号基準レベルをお確かめの上で使用ください。入出力の信号基準レベルが違っていると、ご使用できない場合があります。詳しくは接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本装置や電源 (AC) アダプタ、付属ケーブルの金属接点部分には手を触れないでください。
- 電源 (AC) アダプタ及び音声ケーブルを本装置の背面のジャックに接続するときは、確実に行ってください。

設置場所の環境について

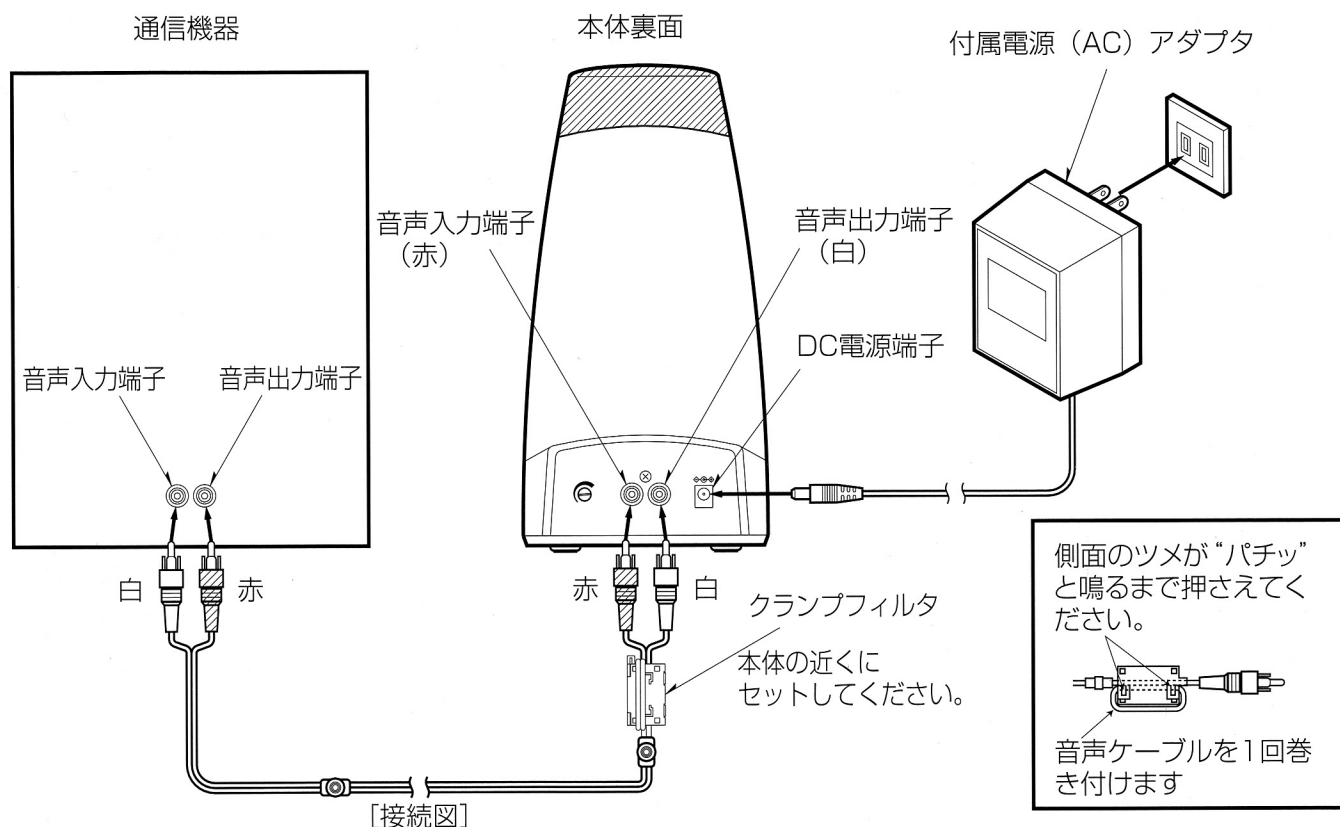
- 本装置の動作環境は、温度 $0^{\circ}\text{C}\sim 40^{\circ}\text{C}$ 、湿度 $45\%\sim 90\%$ です。この範囲を越えた環境でご使用になると電子回路が誤動作、破壊が生じます。特に湿度が高い場所や、寒い場所から暖かい場所に本装置を移動したときの結露には十分ご注意ください。
- 本装置は、小規模の音声通信会議を想定して設計されていますので、下記の環境下でのご使用は避けてください。十分な性能が発揮されない場合があります。
 - ・残響の大きい場所
 - ・広い場所
 - ・騒音の大きな場所
- 本装置は机などしっかりしたものの上に設置してください。不安定な場所へは設置しないでください。
- 本装置を振動しやすいものの上に設置しないでください。内蔵マイクに不要な振動が伝わり、十分な性能が発揮されない場合があります。
- 本装置の近くに通信機器以外の機器や音が反射するような遮蔽物を置かないでください。十分な性能が発揮されない場合があります。
- 本装置は防磁設計ですが、モニタの種類によっては色ムラが生じる場合があります。このような場合は、モニタから本装置を離してください。

接続前の確認

1. 本体の電源スイッチを切ってください。
2. 接続機器の電源を切ってください。

接続方法

1. 音声ケーブルに付属品のクランプフィルタを取り付けます。
2. 付属の音声ケーブルの赤色プラグを本体音声入力端子（赤）（IN）に接続します。
3. 2で接続した付属ケーブルの反対側の赤色プラグを通信機器の音声出力端子に接続します。
4. 付属の音声ケーブルの白色プラグを本体音声出力端子（白）（OUT）に接続します。
5. 4で接続した付属ケーブルの反対側の白色プラグを通信機器の音声入力端子に接続します。
6. 付属の専用電源（AC）アダプタの接続ピンを本装置の接続端子に接続します。
7. 付属の専用電源（AC）アダプタをコンセント（AC100V）に差し込みます。

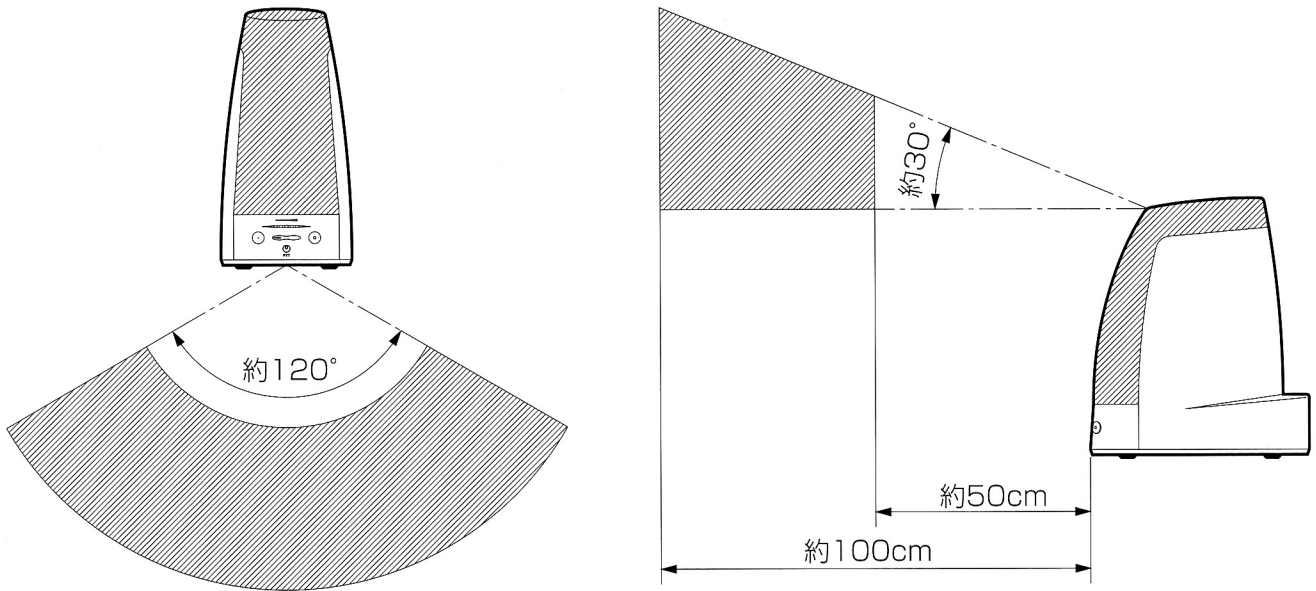


接続後の確認

本体の電源スイッチを入れる前にもう一度接続コードのゆるみのないことを確認してください。

本装置の使い方

- 本装置は音声入出力端子を持つ通信機器に接続して音声通信を行うためのエコーキャンセラ機能付きマイク内蔵スピーカーです。テレビ電話／会議等に接続して使用する時に、その機器がリップシンク（音声遅延）機能を持っている場合は、その機能を使用しない（OFF）に設定してください。
- 本装置は2～3人程度で使用されることを想定しています。本装置と発言者との最適位置関係は図の斜線範囲（7ページ）です。この範囲から離れた位置で使用しますと、相手側からの音声が聞き取りにくかったり、こちら側からの音声が相手側にうまく伝わらない場合があります。
- スピーカボリュームで音量を上げすぎた状態で使用しますと、スムーズな会話ができなくなる場合があります。このような場合は、スピーカボリュームの左側のスイッチを押して音量を下げてください。通常は標準状態でお使いください。
- こちら側の室内環境、接続および設定が正常であっても、相手側の室内環境が悪かったり、接続の設定が正常でない場合、スムーズな会話ができない場合があります。相手側の設定環境を確認してください。



本装置からの距離および、垂直方向

お手入れ

お手入れの際は電源（AC）アダプタを抜いてから行ってください。

キャビネットが汚れたときは

柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水に薄めた中性洗剤に浸した布をよくしぼり、拭いてください。



キャビネットを傷めないために

キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナーで拭くと変質したり、塗料がはげる原因になりますので使わないでください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。



保護ネットがほこりで汚れたときは

乾いた布で軽く拭いてください。

故障かな？ちょっと確認してください

●修理を依頼する前に次のことをご確認ください。

接続している機器のトラブルに関しては、それぞれの取扱説明書をお読みください。

故障かな？	ここを確認してください
音がでない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源（AC）アダプタは正しく接続されていますか。 2. 音声入力端子（IN）と通信機器とは正しく接続されていますか。
音が不安定である。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 近くにクーラーやファンヒーターなどノイズを出すような機器がありませんか。 2. 残響の大きな場所で使用していませんか。 3. 相手側の機器の設定は正しく行われていますか。 4. 本装置の設置環境は正しく使われていますか。 5. リップシンク（音声遅延）機能をOFFにしてください。
相手側に音声を送れない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 音声出力端子（OUT）と通信機器とは正しく接続されていますか。 2. ミュートスイッチが働いていませんか。（本装置及び通信機器）
近くのモニタ画面に色ムラが生じる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. モニタと本装置が近くに置かれていませんか。

保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。（詳しくは「保証書」の無償修理規定をご覧ください）

●保守サービスについて

保証期間後も、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時にはNTTが無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へお出かけするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様へお出かけするための費用が不要になります。

●故障した場合のお問い合わせは、局番なしの113番へご連絡してください。

●定額保守サービスの料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

<NTT通信機器お取扱相談センタ：☎0120-109217>

●補修用部品の保有期間

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低7年間保有しています。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合もありますので、最寄りのNTT窓口にお問い合わせください。

主な仕様

項目	内容
外形寸法	約122（幅）×205（奥行き）×243（高さ）mm（突起部含まず）
質量	約1.3kg
漏洩磁束	3gauss以下（本体側面）
出力音圧レベル	74dB/50cm（基準信号レベル入力、スピーカボリューム標準時） 82dB/50cm（基準信号レベル入力、スピーカボリューム最大時）
再生周波数帯域	220Hz～3500Hz
入力信号基準レベル	-14.7dBm
入力インピーダンス	47kΩ以上（不平衡）
出力信号基準レベル	-14.7dBm
出力インピーダンス	1kΩ以下（不平衡）
使用スピーカ	口径6.35cmコーン形（2個）
使用マイクロフォン	バックエレクトレット・コンデンサ型
電源	DC13.5V（電源（AC）アダプタ使用）
消費電力	最大12W
動作環境	温度：0～40℃ 湿度：45～90%（ただし結露なきこと）

●使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

<NTT通信機器お取扱相談センタ：☎0120-109217>

カナ品名：DTC-フカヨウヒンM1